

#### (4) 調査結果

##### ア 大気質の状況

###### a 既存資料調査

多摩市愛宕測定局における平成25年度から平成29年度までの大気質の測定結果は表8.1-8及び表8.1-9に示すとおりです。

表 8.1-8 多摩市愛宕測定局における二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の状況

(単位：ppm)

測定局	年度	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準達成状況	環境基準
一般局 多摩市 愛宕	平成25	0.015	0.034	○	1時間値の1日平均値が0.04～0.06までのゾーン内またはそれ以下であること。
	平成26	0.015	0.030	○	
	平成27	0.015	0.030	○	
	平成28	0.013	0.028	○	
	平成29	0.013	0.029	○	

注) 環境基準達成状況の○印は達成を示します。

資料: 「大気汚染常時測定局測定結果報告」(平成25年度～平成29年度各年度版 東京都環境局)

表 8.1-9 多摩市愛宕測定局における浮遊粒子状物質 (SPM) の状況

(単位：mg/m<sup>3</sup>)

測定局	年度	年平均値	日平均値の2%除外値	環境基準達成状況	環境基準
一般局 多摩市 愛宕	平成25	0.017	0.053	○	1時間値の1日平均値が0.10以下であり、かつ、1時間値が0.20以下であること。
	平成26	0.016	0.046	○	
	平成27	0.017	0.044	○	
	平成28	0.016	0.036	○	
	平成29	0.016	0.035	○	

注) 環境基準達成状況の○印は達成を示します。

資料: 「大気汚染常時測定局測定結果報告」(平成25年度～平成29年度各年度版 東京都環境局)

###### b 現地調査

大気質の四季調査結果は、表8.1-10に示すとおりです。

二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) については、一般環境調査地点2地点の四季平均値が0.012ppmから0.013ppm、道路沿道調査地点8地点の四季平均値が0.015ppmから0.025ppmであり、一般環境及び道路沿道ともに、冬季に二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の濃度が高くなる傾向が見られました。

また、公定法調査地点で同時に実施した簡易法による測定結果は、四季平均で見ると公定法と0.001ppmの違いでした。

浮遊粒子状物質 (SPM) については、一般環境調査地点2地点の四季平均値が0.018mg/m<sup>3</sup>から0.020mg/m<sup>3</sup>、道路沿道調査地点2地点の四季平均値が0.017mg/m<sup>3</sup>から0.018mg/m<sup>3</sup>であり、一般環境及び道路沿道ともに、春季に浮遊粒子状物質 (SPM) の濃度が高くなる傾向が見られました。

表 8.1-10 大気質の四季調査結果(現地調査)

(単位：NO<sub>2</sub>はppm、SPMはmg/m<sup>3</sup>)

項目	区分	地点番号	所在地	期間平均値				四季平均	
				冬季	春季	夏季	秋季		
二酸化窒素	一般環境	1	稲城市百村 2116 (卵の広場公園敷地内)	0.017 (0.020)	0.009 (0.010)	0.009 (0.009)	0.014 (0.014)	0.012 (0.013)	
		2	稲城市百村 23 (稲城第一中学校敷地内)	0.018 (0.020)	0.010 (0.012)	0.010 (0.010)	0.014 (0.015)	0.013 (0.014)	
	道路沿道	公定法+簡易法	1N	多摩市聖ヶ丘四丁目付近 (戸建住宅前)	0.020 (0.024)	0.014 (0.016)	0.014 (0.014)	0.018 (0.018)	0.017 (0.018)
			4N	稲城市百村 81-3 付近 (戸建住宅の西側歩道上)	0.019 (0.022)	0.012 (0.013)	0.011 (0.011)	0.016 (0.016)	0.015 (0.016)
		簡易法	1N	多摩市聖ヶ丘四丁目付近 (戸建住宅前)	0.024	0.016	0.014	0.018	0.018
			2S	稲城市長峰三丁目付近 (戸建住宅前)	0.025	0.014	0.013	0.018	0.018
			3N	稲城市向陽台三丁目付近 (向陽台小学校プール前(スロープ下))	0.023	0.014	0.013	0.017	0.017
			3S	稲城市百村 2114 付近 (堅谷戸橋(歩道橋) 付近南側)	0.032	0.022	0.021	0.026	0.025
			4N	稲城市百村 81-3 付近 (戸建住宅の西側歩道上)	0.022	0.013	0.011	0.016	0.016
			4S	稲城市百村 81-3 付近 (畑地の前)	0.027	0.015	0.013	0.020	0.019
浮遊粒子状物質	一般環境	1	稲城市百村 2116 (卵の広場公園敷地内)	0.013	0.023	0.018	0.016	0.018	
		2	稲城市百村 23 (稲城第一中学校敷地内)	0.015	0.026	0.022	0.015	0.020	
	道路沿道	1N	多摩市聖ヶ丘四丁目付近 (戸建住宅前)	0.014	0.022	0.017	0.017	0.018	
		4N	稲城市百村 81-3 付近 (戸建住宅の西側歩道上)	0.016	0.020	0.016	0.014	0.017	

注1) ( )書きは、公定法と同時測定 of 簡易法測定値を示します。

注2) 地点番号は図 8.1-2 の表記に対応しています。

## イ 気象の状況

### a 既存資料調査

府中地域気象観測所における過去5年間の気象状況の推移は、表 8.1-11 に示すとおりです。

表 8.1-11 気象観測所における気象状況の推移(府中地域気象観測所)

年	降水量(mm)		気温(℃)			風速(m/s)		最多風向	日照時間(h)
	年間	日最大	日平均	最高	最低	平均	最大		
平成 26 年	1,899.5	163.0	15.1	35.8	-5.0	1.7	11.2	北北東	2,121.5
平成 27 年	1,644.5	93.0	15.7	37.6	-5.0	1.7	9.5	北北東	1,966.9
平成 28 年	1,608.5	154.0	15.8	38.0	-6.1	1.6	11.4	北北東	1,831.1
平成 29 年	1,456.5	158.5	15.2	37.6	-6.5	1.6	10.9	北北東	2,099.1
平成 30 年	1,388.5	92.0	16.2	38.8	-8.4	1.8	16.7	北北東	2,119.6

資料：「気象観測データ」(平成 31 年 1 月閲覧 気象庁ホームページ)

b 現地調査

現地調査における気象(風向・風速)の四季調査結果は表 8.1-12 及び図 8.1-4 に示すとおりです。

計画道路の一般環境調査地点である地点 1 (卵の広場公園敷地内)における風向は、春季に南南西の風(SSW)が卓越しており、他の季節は北(N)から北東(NE)よりの風が卓越しています。平均風速は春季の 2.1m/s を最高として、その他季節は 1m/s 前後となっています。

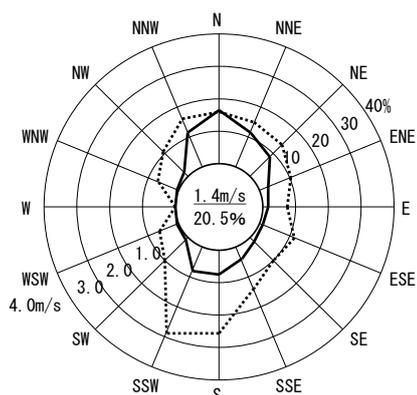
また、もう一つの一般環境調査地点である地点 2 (稲城第一中学校敷地内)においても春季に南南西(SSW)の風が卓越しており、風向・風速共に、地点 1 と同様の傾向となっています。

表 8.1-12 気象(風向・風速)の四季調査結果(現地調査)

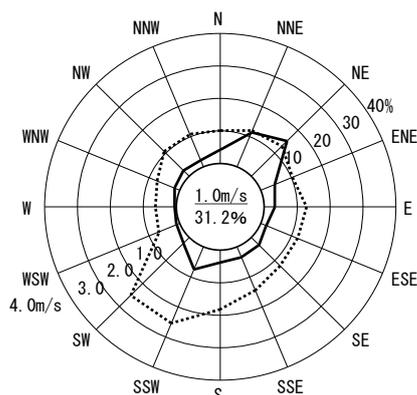
(単位:m/s)

地点番号	項目	冬季	春季	夏季	秋季	四季		
1 卵の広場 公園 敷地内	最多風向	N	SSW	NNE	N	N		
	風速	期間平均値	1.3	2.1	0.9	1.2	1.4	
		日平均値	最高値	1.8	4.5	1.1	2.5	4.5
			最低値	0.7	1.3	0.5	0.7	0.5
		1時間値	最高値	3.0	6.3	2.9	4.7	6.3
			最低値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 稲城第一 中学校 敷地内	最多風向	NNE	SSW	NNE	NE	NE		
	風速	期間平均値	0.8	1.7	0.6	1.0	1.0	
		日平均値	最高値	1.0	3.7	0.9	1.9	3.7
			最低値	0.5	1.1	0.3	0.6	0.3
		1時間値	最高値	2.4	5.7	2.2	4.2	5.7
			最低値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 地点番号は、図8.1-2の表記に対応しています。



[地点 1 (卵の広場公園敷地内)]



[地点 2 (稲城第一中学校敷地内)]

凡 例  
 ———— : 風向出現頻度 (%)  
 ..... : 平均風速 (m/s)  
 円内数字上段 : 平均風速  
 下段 : 静穏 (風速0.4m/s以下) 率

図 8.1-4 風配図 (現地調査の四季平均)

## ウ 地形及び地物の状況

計画道路及びその周辺における地形は、広域的には丘陵地であり、詳しく見ると図 8.1-5 に示すとおり「大規模な宅地造成地」及び「大規模な人工改変地」となっています。また、計画道路の南側の尾根を越えた付近は「丘頂平坦面」や「丘陵地内の谷底低地」となっています。

計画道路沿道の既存建築物の状況は、図 8.1-6 に示すとおり、トンネル等区間では計画道路（平面構造）沿道の多摩市聖ヶ丘周辺に 3 階以下の低層住居が分布しており、標準区間では計画道路沿道の稲城市域でも同様に 3 階以下の低層住居が分布しています。高層建物については、計画道路東坑口付近の南側背後地に集合住宅が立地しています。

## エ 土地利用等の状況

### a 土地利用

計画道路周辺の土地利用は、図 8.1-7 に示すとおりであり、計画道路沿道の土地利用状況は、計画道路を大きく三つのエリア（多摩市聖ヶ丘周辺～多摩市と稲城市の市境、稲城市域西側、稲城市域東側）に区分し整理すると、おおむね次のとおりです。

多摩市聖ヶ丘周辺～多摩市と稲城市の市境は、主に独立住宅、教育文化施設、公園、運動場等が分布しています。

稲城市域西側（多摩市と稲城市の市境～稲城中央公園交差点）は、独立住宅、公園、運動場、原野等が分布しています。旧坂浜処分場跡地は土地利用現況図では未利用地に区分されているものの、現在は稲城長峰スポーツ広場としてサッカー場や公園として使われています。

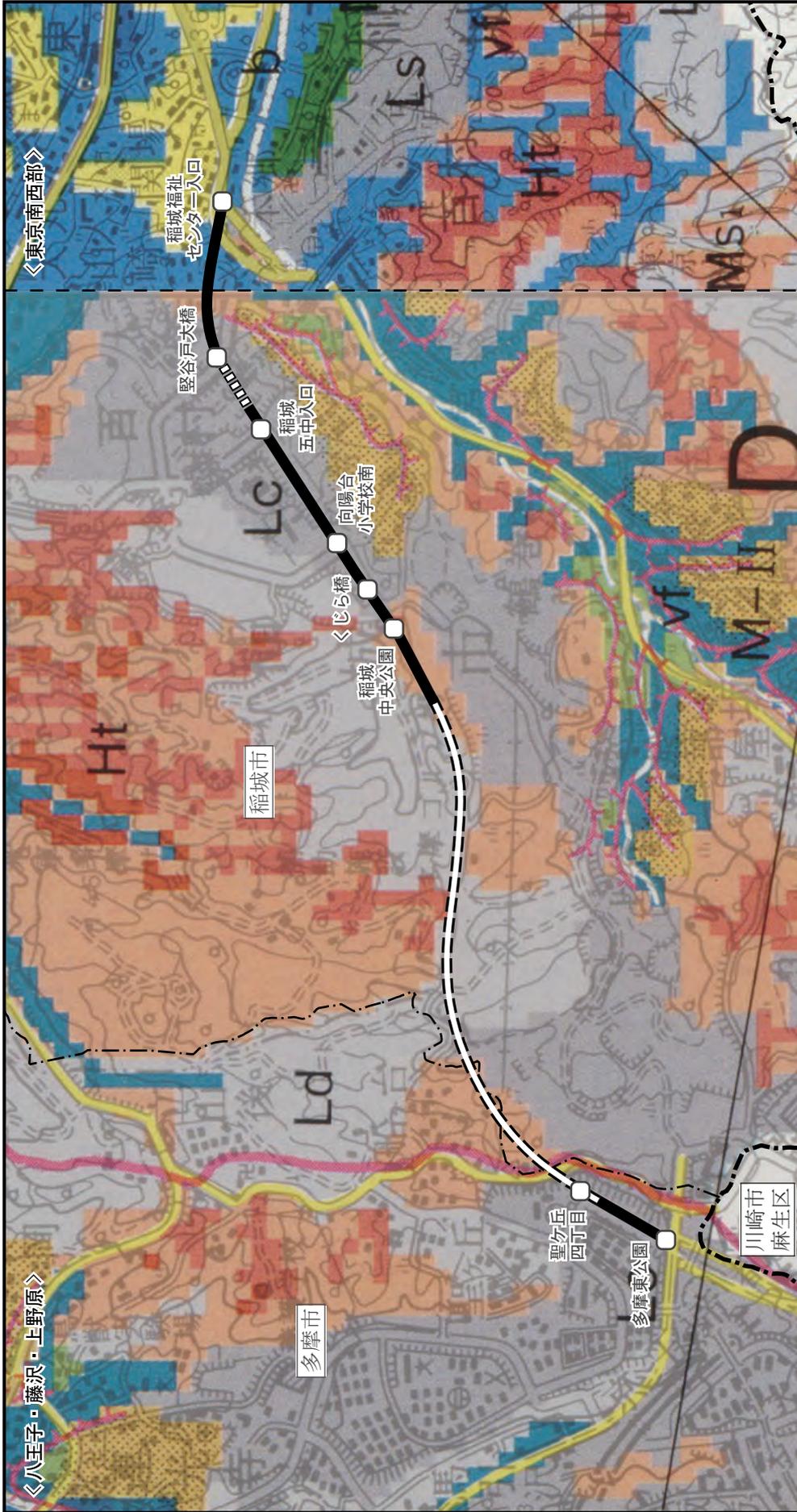
稲城市域東側（稲城中央公園交差点～稲城福祉センター入口交差点）は、主に教育文化施設、独立住宅、公園、運動場等に利用されているほか、事務所建築物、専用商業施設、森林等が分布しています。本エリアの事務所建築物と専用商業施設は、流通施設関係、ドラッグストア、ファミリーレストラン等のロードサイド形の店舗等です。

### b 都市計画等の状況

#### ① 多摩ニュータウンについて

計画道路及びその周辺の一部は、多摩ニュータウンの地域となっています。「TAMA NEW TOWN SINCE1965」（平成 20 年 4 月 独立行政法人都市再生機構）によると、多摩ニュータウンは、昭和 30 年代の東京における深刻な住宅難と、それに関連して進行した多摩地域の無秩序な開発を防止し居住環境の良い宅地や住宅を大量に供給することを目的に、昭和 40 年に新住宅市街地開発事業として都市計画決定されました。計画規模は、総面積約 2,880 ヘクタール、居住計画人口約 34 万人で、区域は稲城市、多摩市、町田市及び八王子市にまたがっています。

計画道路周辺の多摩ニュータウンの基本計画図は図 8.1-8 に示すとおりです。多摩の優れた自然環境と調和した良好な居住環境の充実と、教育・文化・業務・商業の機能を備えた活力ある新市街地の形成、都市機能の充実及び周辺地域との連携を目指し、計画道路の直近では、多摩市域及び稲城市域で住宅や教育施設、地区公園等が計画されています。



凡例

- 計画道路 (平面構造)
- ≡≡≡ 計画道路 (トンネル構造)
- 計画道路 (橋りょう構造)
- 都県界
- 市界
- 交差点

資料：「地形分類図(八王子・藤沢・上野原)」(平成7年3月 東京都)  
「地形分類図(東京南西部)」(平成9年3月 東京都)

＜八王子・藤沢・上野原＞

Ht	丘頂平坦面
vt	丘陵地内の谷底低地
M-II	段丘崖
Te-t	武蔵野段丘面II
Ld	立川段丘面
Lc	大規模な人工改変地
Ms1	主要道路
Ms2	山地斜面 (15° 未満)
	山地斜面 (15° 以上 30° 未満)

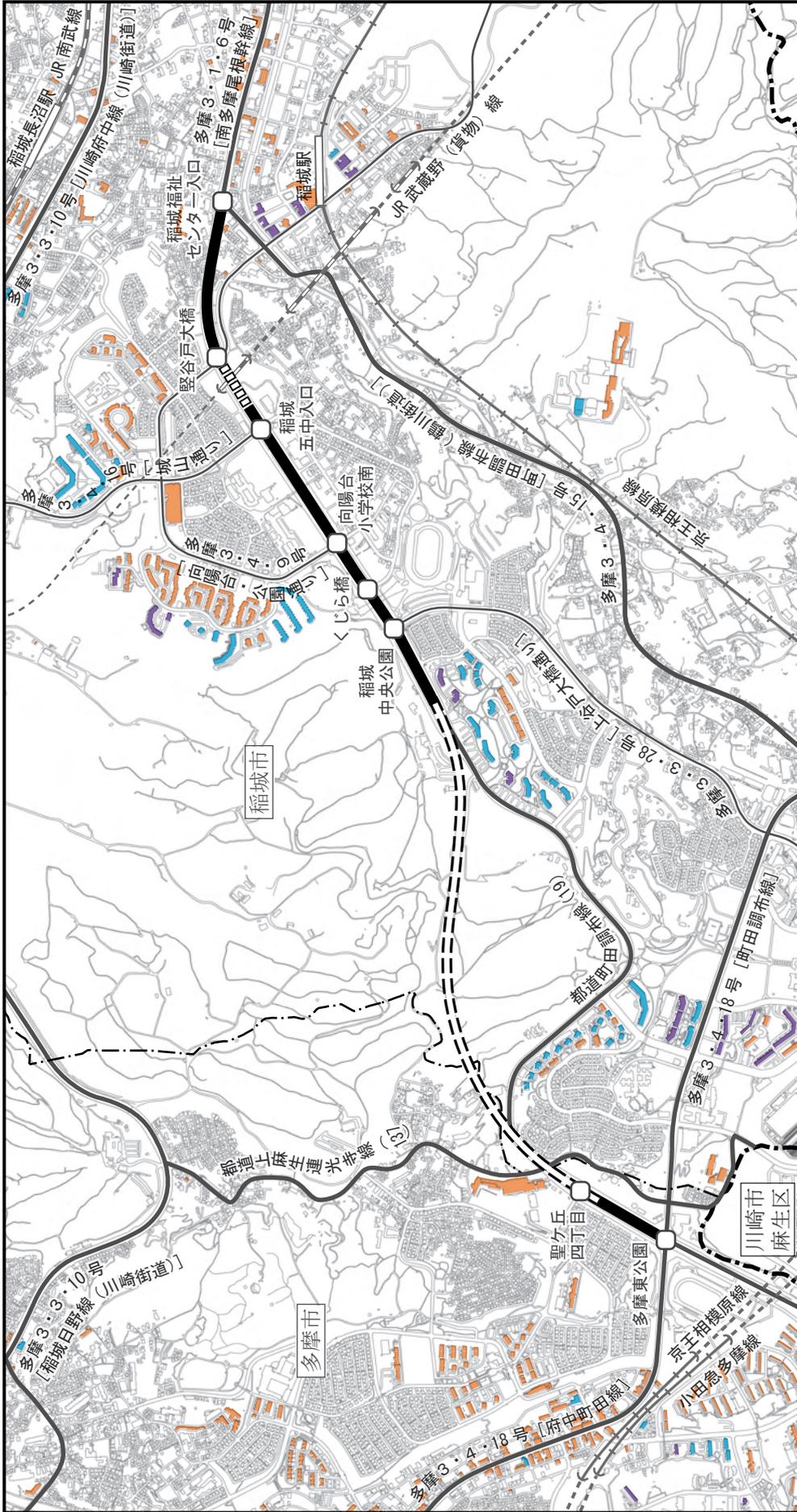
＜東京南西部＞

Ms1	15° 以下の傾斜を示す山地斜面
Pac	新期土石流地形・沖積
Mg1	山麓緩斜面
Ht	丘頂平坦面
b	後背湿地・谷底低地
vt	丘陵地内の谷底低地
frc	旧河道
Ld	大規模な人工改変地
Lc	大規模な宅地造成地
	主要道路

1:20,000

0 0.5 1km

図 8.1-5 地形分類図



凡例

- 計画道路（平面構造）
- ≡≡≡ 計画道路（トンネル構造）
- 計画道路（橋りょう構造）
- - - - 都県界
- · · · 市界
- 道路（主要地方道・一般都道）
- 道路（計画道路と交差する主な市道）

- 交差点
- ≡≡≡ 鉄道

- 4階以上7階以下の建物
- 8階以上10階以下の建物
- 11階以上15階以下の建物

注）着色のない建物は3階以下の建物です。



図 8.1-6 既存建築物の状況

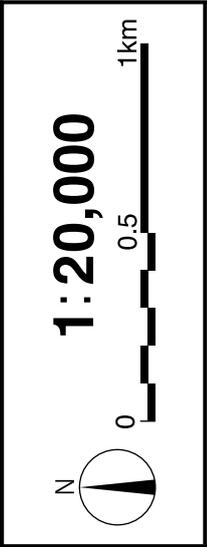
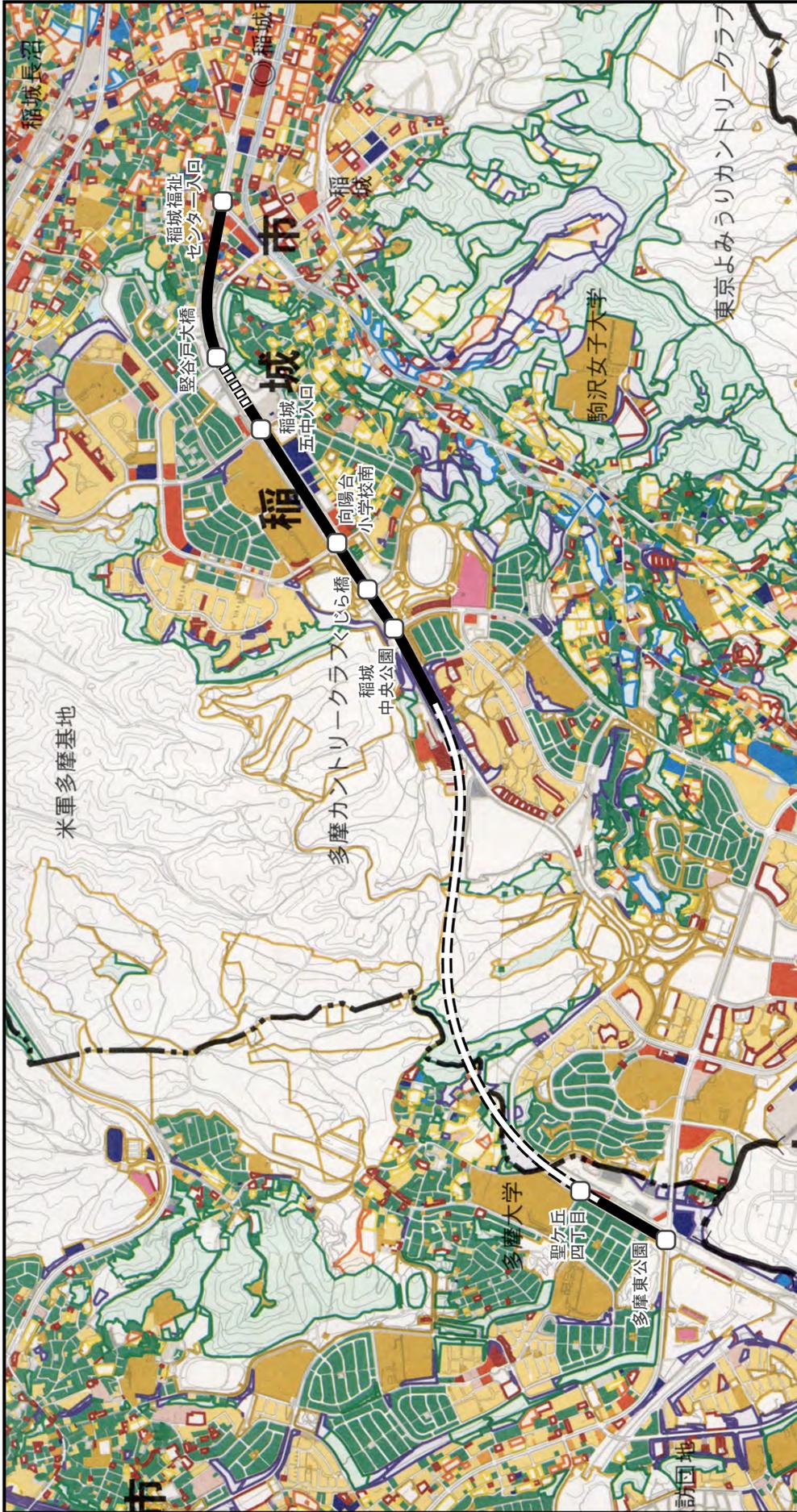
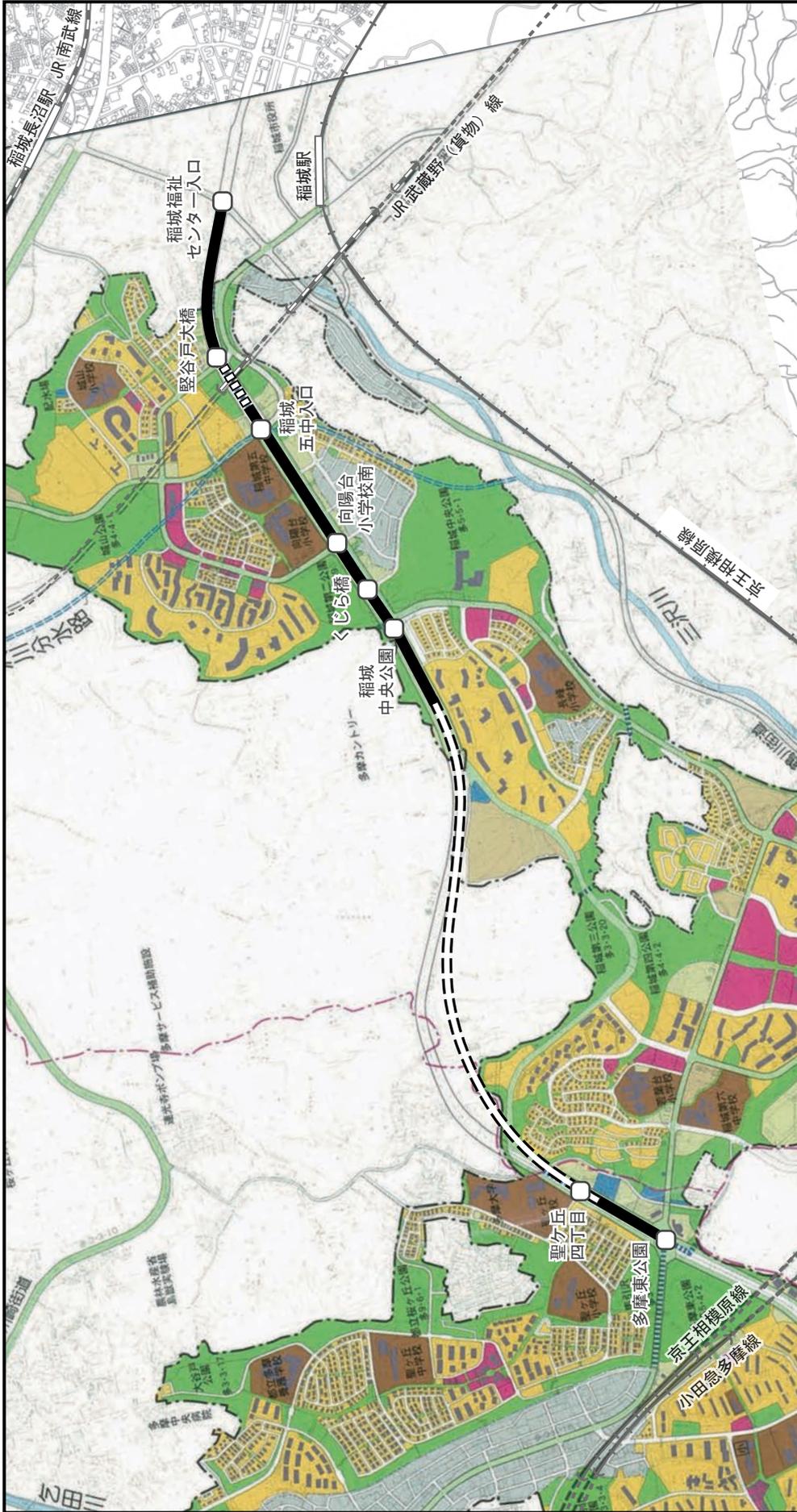


図 8.1-7 土地利用現況図

凡例	公共系	工業系	農業系	空地系
計画道路（平面構造）	官庁施設	専用工場	農林漁業施設	屋外利用地・仮設建物
計画道路（トンネル構造）	教育文化施設	住居併用工場	田	公園、運動場等
計画道路（橋りょう構造）	厚生医療施設	倉庫・運輸関係施設	畑	未利用地等
行政界	供給処理施設	商業系	樹園地	林野系
交差点	住宅系	事務所建築物	採草放牧地	森林
	独立住宅	専用商業施設		原野
	集合住宅	住居併用施設		水面・河川・水路
		宿泊・遊興施設		道路、鉄道、港湾等、その他
		スポーツ・興行施設		

資料：「東京都土地利用現況図〔建物用途別〕」（平成 24 年現在）多摩都市部〔平成 25 年 東京都都市整備局〕



凡例

- 計画道路（平面構造）
- ≡≡≡ 計画道路（トンネル構造）
- 計画道路（橋りょう構造）
- - - 行政界
- 交差点
- ≡≡≡ 鉄道

- 住宅（含む細街路等）
- 住宅または誘致施設等
- 小中学校等教育施設
- 都市計画道路施工済み
- 都市センター・住区サービス・病院等
- 水道施設・清掃工場・火葬場・墓地等
- 地区公園・近隣公園・街区公園・緑地等
- 土地区画整理事業区域



図 8.1-8 計画地周辺の多摩ニュータウン基本計画図

資料：「TAMA NEW TOWN SINCE1965」（平成 20 年 4 月 独立行政法人都市再生機構東日本支社ニュータウン事業部）